

【速報】2023年コミック市場は2.5%増の6,937億円 紙は8.0%減、電子は7.8%増

出版業界の調査研究機関である(公社)全国出版協会・出版科学研究所(所在地:東京都新宿区 理事長:浅野純次)は、2023年(1~12月期累計)のコミック市場(推定販売金額)を発表しました。

紙と電子を合わせたコミック市場は、前年比2.5%増の6,937億円。内訳は紙のコミックス(単行本)とコミック誌を合わせた推定販売金額が同8.0%減の2,107億円、電子コミックが同7.8%増の4,830億円。電子コミックが牽引し、6年連続のプラス成長となりました。コミック市場のシェアは紙が30.4%、電子が69.6%で約7割が電子の売り上げです。出版市場におけるコミック(紙+電子)のシェアは同2.0ポイント増の43.5%に達しています。

紙コミックスは8.2%減の1,610億円

紙のコミック市場は前年比8.0%減の2,107億円。内訳はコミックスが同8.2%減の1,610億円、コミック誌は同7.4%減の497億円。紙コミックスはコロナ禍の20、21年に大きく伸びましたが、22年になると沈静化、23年は19年の販売金額を下回りました。

『【推しの子】』(集英社)、『葬送のフリーレン』(小学館)などのアニメ化作品が話題となり、大きく売り伸ばした一方で、紙のコミックスは新刊の売り上げが中心となり、売れ行きが一部の上位作品に集中し、幅広く売れる状況に乏しくなっています。また、上位の販売水準も目減りしており、全体では1割近い減少となりました。コミック誌は減少が続き、webやアプリに連載を切り替える動きも多く見られます。



■コミック推定販売金額

(単位: 億円、%)

紙版	小計	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	前年比
		コミックス	2,102	1,947	1,666	1,588	1,665	2,079	2,087	1,754	1,610
コミック誌	1,166	1,016	917	824	722	627	558	537	497	92.6	
小計	3,268	2,963	2,583	2,412	2,387	2,706	2,645	2,291	2,107	92.0	
電子コミック (電子コミック誌含む)		1,169	1,491	1,747	2,002	2,593	3,420	4,114	4,479	4,830	107.8
合計		4,437	4,454	4,330	4,414	4,980	6,126	6,759	6,770	6,937	102.5

電子コミックは7.8%増の4,830億円

電子コミック市場は前年比7.8%増の4,830億円。22年より伸び幅はわずかに縮みましたが依然として好調に推移。映像化作品など紙でもヒットしたものだけでなく、ストア独占・先行配信作品の強化や電子オリジナル作品、縦スクロールコミックの好調さが市場を底上げしています。「ピッコマ」で取り上げられた『トリコ』(集英社)や広告出稿した『コウノドリ』(講談社)など完結した作品の掘り起こしも成功しています。

※詳細に関しては、「季刊 出版指標」2024年春号(4月25日刊行)にて発表いたします。

<本件に関するお問い合わせ>

公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所 担当:原・柴田

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町 6-24 TEL 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855

<https://www.shuppankagaku.com>